

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化や終末期の対応について、職員、医療関係者と話し合いを持ち、対応方針を定めてほしい。その方針を本人や家族に説明し、家族、職員、関係者で共有する取り組みに期待したい。	重度化や終末期の対応について職員間の統一を図り研修参加、施設内研修にてケアを統一確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・重度化、終末期の対応マニュアルを作成し職員間の意識統一を計る。 ・全職員の研修参加を図り家族、職員関係者との連携に努める。 	6ヶ月
2	35	年二回の防災訓練だけではなく、年間を通じた訓練や避難場所へ行き、経路を確認する等、実地的な訓練を繰り返してほしい。また、地域との協力体制を確立する取組にも期待したい。	地域の消防団との連携を図り地域との協力体制を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ・台所の火(元栓)の確認 ・業務日誌の欄に火の元(ガス元栓)確認の項目を作り夜勤者が確認してサインする。 ・自動門扉開閉は5円硬貨にて開閉できるので常に夜勤者は施設携帯と常時携帯している。 ・地域の消防団の名簿を作成して同時、火災訓練の協力を得る。 	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。